

Hello! FUJISEI

No. 311

高齢化率が26.7%!

年金や医療、介護 公的制度にも影響

平成27年10月1日現在のわが国の総人口は1億2,711万人、65歳以上の高齢者人口は3,392万人で、高齢化率（総人口に占める65歳以上人口の割合）は26.7%となっています。

高齢化率が高くなる要因は、大きく分けて、①平均寿命の延伸による65歳以上人口の増加と、②少子化の進行による若年人口の減少、の2つです。

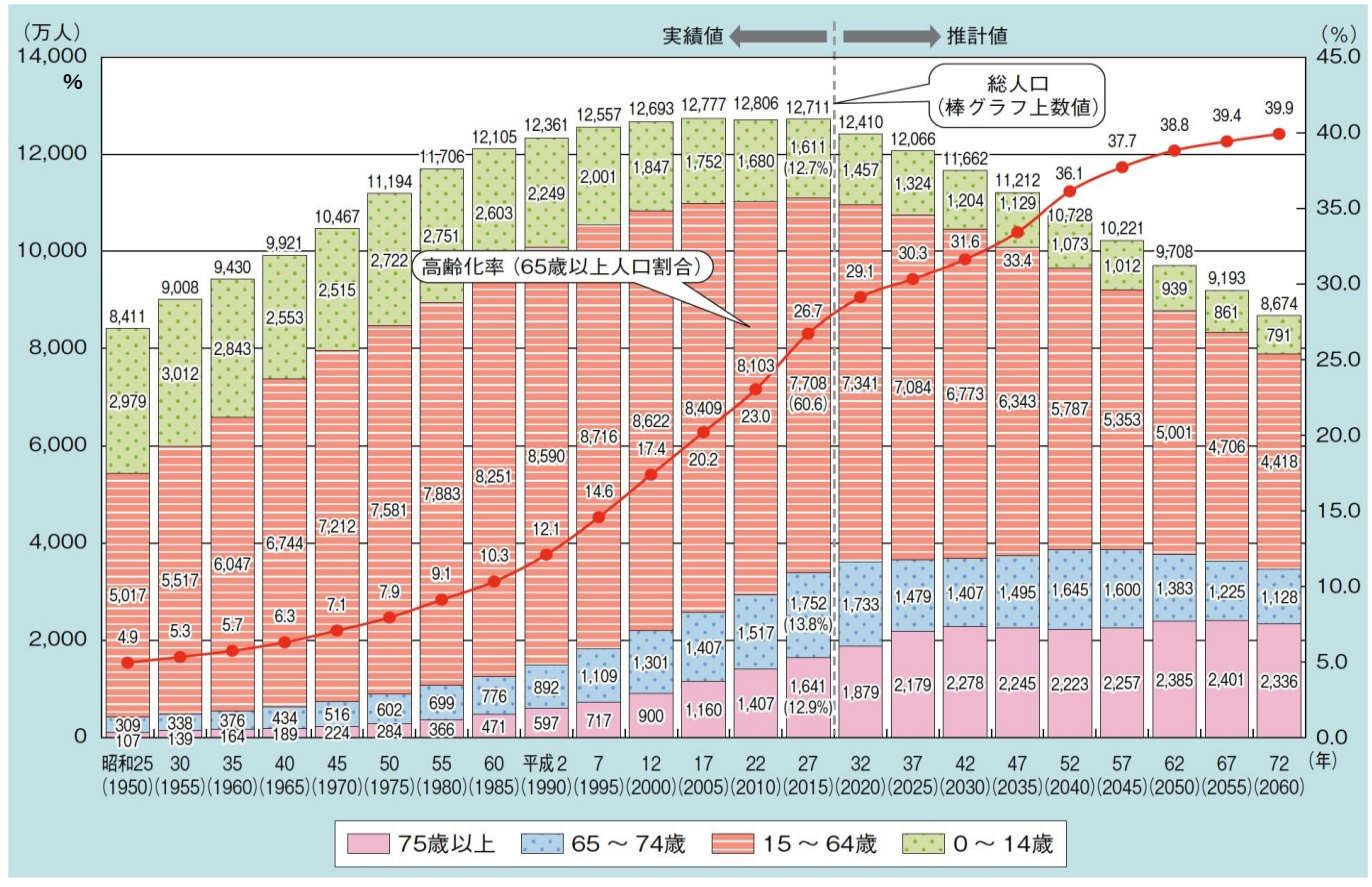
65歳以上を男女別にみると、男性1,466万人、女性1,926万人で、性比（女性人口100人に対する男性人口）は76.1です。さらに、「65～74歳人口」は1,752万人で、総人口に占める割合は13.8%、「75歳以上人口」は1,641万人、総人口に占める割合は12.9%となっています。

いわゆる「団塊の世代」（昭和22～24年に生まれた人）が平成27年に65歳以上となりました。高齢者人口

は、この「団塊の世代」が75歳以上となる平成37年には3,657万人に達すると見込まれており、平成54年に3,878万人でピークを迎え、その後は減少に転じますが、総人口が減少する中で高齢化率は上昇を続けます。平成72年には高齢化率は39.9%に達し、2.5人に1人が65歳以上となり、75歳以上人口は26.9%となります。

高齢化の推移と将来推計

内閣府「平成28年版 高齢社会白書」より



AIG富士生命保険株式会社

〒105-8633 東京都港区虎ノ門4-3-20
神谷町MTビル